

- 問1 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 2. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため | 3. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 4. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため |
|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------|
- 問2 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|
| 1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された | 2. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である | 3. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された | 4. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である |
|--|---|---|-------------------------------------|
- 問3 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 2. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 3. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 4. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 |
|---|--|--|---|
- 問4 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 石包丁 | 2. 埴輪 | 3. 銅鐸 | 4. 土偶 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問5 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため | 2. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 3. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため | 4. 大規模な稲作を行うための、種ちみを長期間保管するため |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|
- 問6 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 1. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。 | 2. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。 | 3. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。 | 4. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。 |
|--------------------------------------|--|---|---|
- 問7 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。 | 2. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。 | 3. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。 | 4. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。 |
|--|--|---|---|
- 問8 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 2. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 3. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 | 4. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 |
|--|--|---|--|
- 問9 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 2. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 3. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 4. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 |
|---|--|---|--|
- 問10 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|----------|
| 1. 琉球民族 | 2. 渡来人 | 3. 大和民族 | 4. アイヌ民族 |
|---------|--------|---------|----------|
- 問11 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため | 2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 3. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 4. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問12 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|--------|----------|
| 1. 琉球民族 | 2. 蝦夷（えみし） | 3. 渡来人 | 4. アイヌ民族 |
|---------|------------|--------|----------|
- 問13 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 2. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 | 3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 | 4. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 |
|--|--|---|---|